

川越ロータリークラブ 会 報 No.11

2025 年 9 月 16 日 第 3539 回例会 会場：川越プリンスホテル 5 階

会員数：105 名 免除出席者：8 名 正会員出席者：56 名 出席者：64 名 早退：2 名 出席率：67.37%

プログラム

点鐘（12：30）／（第3例会）それでこそロータリー、四つのテスト／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：山崎SAA〉

会長の時間

2025-26 年度会長 吉澤 徳安

本日は報告を兼ねながら話をしたいと存じます。1 点目は 12 日に川越青年会議所の 65 周年記念式典に参加させていただきました。川越市長を始め川越の主だった方々が参加していて迫力がありました。会長、並びに地区の方、上の役員の方々が約 10 分から 15 分、原稿を見ないで話しをするのは、かなり訓練を受けているという印象を受けました。私は青年会議所の経験はありませんが、OB の方々からかなり厳しく、私生活も犠牲にするような会と聞いていましたが、そういうことも必要なのだと感じました。

監事の方のお話で会員の 40% は入会 5 年未満、今後川越青年会議所を牽引するのは全体の 30% と聞き、若い経営者が色々学ぶ場として入会年数が思ったより短いことに驚きました。

ロータリーの会員数では 2570 地区は本庄が 115 名で一番多いクラブになります。本庄の場合は 3 年未満の会員が 50% を占めています。その方々はどのようにロータリーの仕来り等を学ぶのかと考えさせられます。現状川越は入会 10 年位の在籍者が 60%～70% で、若い方が 15% を占めております。川越ではマニュアル等で学ぶのではなく先輩から受け継いで学ぶことが普通だと思っていますが、先輩方が半数程しかいないと、その先輩方の考えが 50% の会員にど



のように伝わるのかと、今までの常識では今後クラブは上手く運営出来ないのではないかと、川越市年会議所の 65 周年の式典に出席して考えさせられました。

2 点目は 13 日に青少年交換留学生のオリエンテーションに参加しました。今回は去年から今年にかけて海外で勉強された方の帰国報告、5 名の方がそれぞれ 10 分程行いました。青少年交換留学に関わった方々が異口同音に言うのが行く前より帰ってきた時の発言が 3～4 倍はしっかりと発言ができるようになっていいます。また、帰国報告を聞くと毎年レベルが上がっていると感じ、留学生の感覚が優れてきていることも見逃してはいけません。ロータリーは非常に意義があることを行っていると感じました。青少年奉仕は 5 大奉仕の中で最後に加わりました。川越は米山の留学生を毎年受け入れているので、青少年奉仕を身近に感じられます。受け入れていないクラブに関しては米山への寄付など青少年奉仕に対して分かりにくいと考えられています。ただ将来を見据えると意義があることを行っていると思いました。

私はホストファミリーをしています、ホストファミリーは大変です。過去に受け入れをされていた先輩方がいて、苦労を経験されていたことを忘れてはいけないと思いました。

奉仕という言葉が良いかどうかは別として、意義が変わってきているという事は考えるべきだと思います。

幹事報告

2025-26 年度 幹事 高橋 哲彦

・配布物：ハイライト 米山
No.306 卓話資料

・回覧 G 月信 9 月号（地区 HP にて）

・次週 祝日につき休会



委員長報告

親睦委員会 堀越 孝委員

・9月のお祝い（敬称略）

会員誕生	会員配偶者誕生	結婚記念
今泉清詞	長谷川均・あさよ	橋本定寛
伊藤禎二	松山潤・郁子	藤井潔
馬場常正	吉澤徳安・亜矢子	蓼沼光夫
片山幸雄	栗原雄一・雅子	松山潤
坂口孝	須賀昭夫・理衣	塩野貴一
堀越孝	山田哲也・千登勢	鈴木崇生
山田禎久	近藤武弘・直子	高原央明
中野英幸	川野邊智聡・早也乃	鬼頭輝之
塩野貴一	宮下智啓・久子	高木寛和
山崎共子		細田智也

小林勇次郎

鬼頭輝之

山崎大二郎



次週卓話担当 プログラム委員会

新会員スピーチ 中田浩至、菅田慎一郎会員

ニコニコボックス

●森泉秀雄会員、本日の卓話よろしく申し上げます。楽しみにしております。＜会長、幹事＞

●森泉会員の卓話楽しみにしています。＜西澤、小杉、菅田、藤井、水村、神谷、小橋、相原、山田（和）、山崎（共）、高橋（徹）、的矢、和田（尚）、菊池、長瀬、和田（喜）、新井、戸口、岩堀、塩野、馬場（常）、小高、野溝、堀尾、齊藤（智）、山田（哲）、石井、中田（浩）、長岡、町田、高原、鬼頭、高木、井上＞

●市長から米寿の賞状もらいました。ケガをしたけどもう O.K です。＜伊藤＞

●早退 2 名（敬称略）合計 41, 000 円

卓話

講師：森泉 秀雄 城北埼玉中学高等学校長

【城北埼玉学園の教育活動について】

現状 900 名を割ってしまっており、中高一貫の男子校で生徒募集に苦慮しております。

まず本校と川越と関わりある活動について写真にて紹介します。

- ① 川越観光名所めぐって歴史文化を学ぶ
- ② 自転車部が交通事故キャンペーンに協力
- ③ 元町 2 丁目の山車曳き参加
- ④ 毛呂山町の椿木ゆずの剪定等の手伝いをして頂いたゆずを JTB 川越支店前で配布
- ⑤ 川越青年会議所の「ネオ昭和街フェス」にて川越ツアーの担当
- ⑥ 川越青年会議所との交流会
- ⑦ 川越唐棧手織りの会から学ぶ
- ⑧ 川越特別支援学校の小学生と交流会
- ⑨ COEDO KAWAGOE F.C.の選手との交流
- ⑩ おやじの会による大学合格祈願

次に学校経営と生徒、受験生、親、先生に話している事と自分の考えについて話します。



【人間形成と大学進学指導】

「着実 勤勉 自主」 文武両道

楽ではないが楽しい学校

楽ではないがおもしろい学校

【学力が伸びる受験生】

「早寝 早起き 朝ごはん 家事手伝い」

受験生の可能性は無限

学力は努力の差、目標は高くあきらめない

【受験生と保護者の関わり方】

「親という漢字の意味は」木に立って見ると書いて親、遠くから見守ることが大事

結果より、頑張ったこと（努力）を褒める

【先生への呼びかけ】

- ・生徒の良いところを見つけ自信をつけさせ、学ぶ意欲を高めることが大切。
- ・生徒募集について、受験生確保に王道なし。当事者意識をもって、全員経営、全員広報、全員営業。

【教育と教養】

教育と教養のある人とは

今日行くところがある

今日やらなきゃならない用がある

NNK（ねんねんころり）から

PPK（ぴんぴんころり）を目指しましょう